

あなたの学校に
木製学習机を導入
しませんか？

暮らしの中に木材を取り入れる運動を推進しています

(県産木材使用学習機の導入支援の取り組み)

目的

現在、地球温暖化防止のために行われる京都議定書第1約束期間が始まっています。日本が世界に約束をしている6%の削減目標を達成するための森林吸収源対策として、日本全体では、年間55万haのスギ・ヒノキ林の間伐が必要となっています。

県でも、山村地域の元気をとりもどし、森林のきれいな水と空気、豊かな生態系をつくる機能、地球温暖化防止に資するとされるCO₂の固定吸収機能を発揮させるため、間伐をすすめています。

さらに、山から生産された木材の住宅、学校や公共施設などへの積極的な利用を支援しています。

一方で、木材がもつ暖かさや柔らかさは、我々の生活に安らぎや潤いも与えてくれます。これら木材のもつ性質は、年月を経て成長してきた過程で出る年輪や空によるものです。

ただし、これらの特徴は、大きな長所ですが、逆に言えば傷が付きやすい、まったく同じ色あいの製品が揃いにくいといったものとなることも理解して使用する必要があります。

そのような木材のもつ特長を活かしながら、身近にある家具や玩具などに、地域の木製品を積極的に取り入れることは、環境保全活動のひとつといえるのではないのでしょうか。

県では、「暮らしの中に木材を取り入れる運動」を推進しており、平成25年度末まで、県産木材からつくられた学習机・椅子等の導入経費を支援しています。

2 事業内容

(1) 事業主体 市町等(学校法人や公立学校のPTA・OB会等の取り組みも補助対象となります。)

(2) 事業費 1セットあたり10,000円(標準単価)の1/2を上限として助成

セットのうち、学習机天板のみが県産木材製でも補助の対象

平成21年度予算額 3,500千円(@5千円×700セット分)

(3) 導入場所 原則として、小・中学校等の学習スペースなど、子供がふれあえる場所に設置される机(特別教室を含む)

幼稚園、保育園、児童館、公民館等で導入する机+椅子セットも対象となります。

(4) 条件 年度内に補助金の申請、学習機の購入、購入代金の決済、実績報告書の提出が可能なこと。

3 県産木材使用学習机



スギ天板を使用した木製机



ヒノキ材を使用した木製机
(保育所・幼稚園向け)



ヒノキ材を使用した木製机

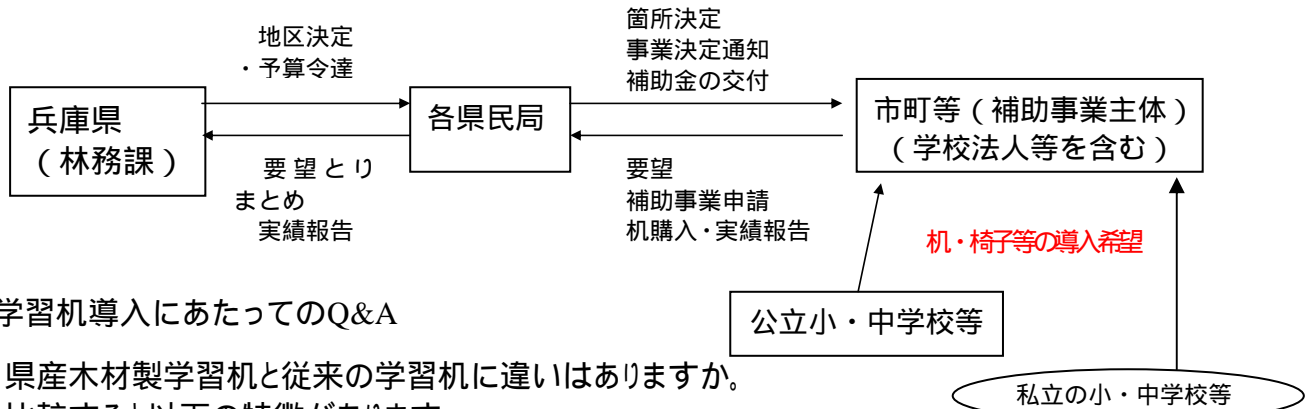
導入の際は、県下各
県民局農林(水産)振
興事務所とも連携し、
木に愛着を感じるよう
な取り組み(森林教室
等)を加えるなど、事
業効果を高めていただ
けると幸いです。

問い合わせ先

各市町を所管している各県民局農林振興事務所 森林林業課・林業課または、農政環境部農林水産局林務課
県産木材係へお問い合わせください。

(林務課県産木材係連絡先) 電話：078-341-7711(内線4120) ファックス：078-362-3954

4 事務の流れ(具体的な事務は、各県民局と事業実施を希望される方との間で行います。)



5 学習机導入にあたってのQ&A

Q1: 県産木材製学習机と従来の学習机に違いはありますか。

A1: 比較すると以下の特徴があります。

	スギ天板(県産木材)使用学習机	メラミン加工学習机
机の表面の固さ	硬度3H～4H程度(コーティングして硬度を上げた商品もあり)	硬度9H
表面のさわり心地	柔らかさや暖かみを感じる	固さを感じる
重さ	約3kg～(スギ天板を使用した場合)	約4.2kg～ 商品により差異があります。
地産地消への貢献	大きく貢献	特になし
その他	メーカーによっては、ヒノキ製天板も商品化済み	

オール木製のヒノキ机は、硬度に差異がありますので、別途お問い合わせください。

Q2: 県産木材製の学習机はどこから購入できますか。

A2: 県下の各事務機メーカーで、おおむね取り扱い可能です。

Q3: 購入価格は、どの程度になりますか。

A3: 概ね新規購入で 18,000 円～27,000 円 (机 + 椅子共に県産木材を使用) と聞いています。

数や仕様により値段は上下しますので、詳細は各事務機メーカーにお問い合わせください。

また、椅子のみを県産木材使用以外のタイプに変更することも可能です。

さらに、机の天板の取り替えのみ(スチール部分を再利用)で対応すると事業主体の負担を減らして机を配備できます。例えば、天板張り替えは簡単な作業で可能ですので、生徒に学習の一環で直接体験させると良い経験になるかもしれません。

Q4: これまでの導入実績は、どの程度のものですか？

A4: H15～H20で、県下で芦屋市ほか6市2町において、8,356セット導入されています。

(うち補助事業により2,220セットを導入しています。)

Q5: 学習机の購入数に上限がありますか。

A5: 購入数が多い場合は当年度の希望数量に添えないこともありますので、前年度での前倒し購入など補助事業の有効活用をご検討ください。

Q6: 学校教室の机 + 椅子のみが補助の対象ですか。

A6: 子供達が日常的に使用する場所(学校の特別教室(理科室・図書室等)、児童館、公民館の児童室等)に設置する机と椅子について補助の対象です。

木製玩具の導入(参考)

木製学習机の導入とともに、幼稚園・保育所等への木製玩具等の導入についても、支援しています。

- ・ 事業費: 1セットあたり 9,000円(標準事業費)の1/2助成(木製玩具等)
- ・ 予算: 360千円(@4.5千円×80セット分) 玩具以外の身近な木製品も対象

スギの積み木

